

続 親鸞 (1960)

メディア 映画

ジャンル 伝記

製作国 日本

色彩 Color

時間 128分

初公開日 1960/09/27

【解説】

吉川英治の同名長編小説を映画化した「親鸞」の続編で第二部。スタッフ・キャストは前作と同様。迷いの解けない親鸞が法然上人の教えに触れ玉目姫と結ばれるまでを描く。

あれから五年。飯室谷の無動寺にこもっていた親鸞は、弟から養父である範綱の死を知らされる。世間では夜になると親鸞が寺を抜け出し玉目姫のもとへ通っているという噂が流れていた。迷いの解けない親鸞は法然上人を訪ね、その説話に涙を流すとともに、念仏を唱える庶民の姿に安らぎと幸福感が満ちているのを目撃する。親鸞はそれまでの自力聖道門から他力念仏門に一点、恩師の慈円に「玉目姫を妻に迎えたい」と願い出た。仏門に生きる身として妻をめとってはいけないのではないか、親鸞はそのことで迷っていたのだ。だが親鸞は玉目姫と結ばれ、ひたすら念仏を唱え続けるのだった。

【クレジット】

監督 田坂具隆

製作 大川博

企画 坪井与

辻野公晴

小川貴也

原作 吉川英治

脚色 成澤昌茂

撮影 坪井誠

美術 桂長四郎

音楽 伊福部昭

出演 中村錦之助

親鸞

中村賀津雄

朝麿

藤川弘

六条範綱

千秋実

性善坊

加賀邦男

覚明

大河内傳次郎

慈円僧正

千田是也

月輪兼実

吉川博子

玉目姫

木暮実千代

万野

織田政雄

高松衛門

岡田英次

Eiji Okada

天城四郎

和崎隆太郎

蜘蛛太

丘さとみ

梢

徳大寺伸

法印聖覚

薄田研二	峰阿弥
平幹二郎	弁海
吉田義夫	如海
汐見洋	覚運
香川良介	静蔵
小柴幹治	天海
長島隆一	釈源
中村幸吉	最円
山本順大	実性
小沢栄太郎	鷹司右大臣
澤村宗之助	冷泉大納言
津村礼司	日野経房
高松錦之助	一条友範
堀正夫	蓮空僧正
殿山泰司	助蔵
岩崎加根子	萱野
国一太郎	国助
星美智子	梶葉
浪花千栄子	老婆
月形龍之介	法然
原健策	西仙房心寂
中村時之介	聖光房弁長
那須伸太郎	空港
片岡栄二郎	念阿
近松竜太郎	堪空
伏見扇太郎	盛運
里見浩太郎	住蓮
尾上鯉之助	安楽坊
北龍二	九条実篤
大邦一公	経成
瀬川路三郎	行経
有馬宏治	友則
御橋公	定経
桜町弘子	松虫
花園ひろみ	鈴虫
尾上華丈	弟子僧の老人
石丸勝也	烏帽子師
片岡半蔵	弓師の老人
水野浩	法師
伊東亮英	職人
天草四郎	香具師
小田部通麿	老傀儡師
尾形伸之介	荒法師